

私の夢

J P E 2 - 2 チエン サコーン

私は小さいときから、たくさん人の夢を持っていた。例えば弁護士、医者、エンジニアになりたいと言う夢を持つていました。しかし、今私が大人になって、私の夢も変わりました。

高校を卒業してから、弁護士の大学に入りたかったが、家族の生活が豊富ではなかったので私の勉強をサポートするためのお金がありませんでした。それで、奨学生で電子工学の専門学校に入学することに決めました。でも私はその専門が好きではなかったので、3年生まで学校を辞めました。学校を辞めてから、カンボジアにある日本のミネベアと言う会社に入りました。上司は日本人ですが、私は上司と英語でコミュニケーションを取りました。たまたま、私は上司が日本語で電話をかけるのを耳にしたので、面白いと思って日本語が好きになりました。そして日本語が出来

るようになりたいと思いました。休みの日に日本語学校を探しました。おかげまで、聞いたばかりの日本語学校を見つけました。最初の3ヶ月の学費を払わなくとも入れました。そのとき私としても嬉しかったです。私にとって、日本語を勉強すれば勉強するほどだんだん好きになりました。ですから、日本語が出来れば、将来大学の日本語教師になりうると思いました。それは私の新しい夢です。日本語の教師になりたい理由は自分の知識を他の人と共有したいです。そしてカンボジアでの日本語を勉強している方は増えました。

夢を叶えるために、最初は大学で日本語を勉強したかったが、お金がなかなか、3年間日本で技能実習生として働いていました。稼いだお金で今王立ブノンペン大学で日本語を勉強することができました。そして今日本の会社で働きながら大学に通っています。この仕事は毎日日本語を使ってとても嬉しいです。

す。働きながら大学に通っているのは大変ですが、自分の夢を叶えるために精一杯頑張っていましたと思想います。

例え、大学の教師になれなくとも、普通の日本語学校の教師になれたら、満足します。どんな事にあっても諦めずに自分の夢に到着するまで歩いて行きます。